

函 企 国

令和3年(2021年)2月12日

総務常任委員会委員 各位

企 画 部 長

資料の配付について

このことについて、もと道南青年の家（旧ロシア領事館）活用事業プロポーザル審査委員会から最適提案者の選定結果に係る通知があり、市として当該最適提案者を契約候補事業者に決定しましたので、下記資料のとおりお知らせいたします。

記

1 配付資料

- (1) 旧ロシア領事館活用事業プロポーザルの事業者選定結果について
- (2) 契約候補事業者（最適提案者）の企画提案概要

(企画部国際・地域交流課)

旧ロシア領事館活用事業プロポーザルの事業者選定結果について

〔審査対象者〕 2者
 ・相馬株式会社
 ・株式会社ソヴリン

〔審査委員会〕 令和3年2月8日(月)(プレゼンテーション・ヒアリング・事業者選定)

〔審査委員会委員〕 5名
 委員長：奥平 理 (北海道教育大学函館校 准教授)
 委員：岡本 誠 (公立はこだて未来大学 教授)
 委員：山内 一男 (株式会社建築企画山内事務所 代表取締役)
 委員：中村 和之 (函館工業高等専門学校 特任教授)
 委員：高橋 昭彦 (北海道中小企業総合支援センター 道南支部 支部長)

1 最適提案者（契約候補事業者）

名称：株式会社ソヴリン
 代表者：代表取締役 村瀬 啓方
 所在地：愛知県名古屋市天白区井口一丁目601番地

2 最適提案者の評価内容

評価基準に基づき、委員間の協議が行われた結果、総合点が最も高かった審査対象者が最適提案者として選定された。

分野	番号	審査項目	配点	株式会社ソヴリン
経営基盤・ 収支計画 (35点)	1	事業者の経営基盤が安定しているか	15	15.00
	2	事業の収支計画が妥当であるか	10	6.00
	3	事業内容に必要な運営体制が提案されているか	10	7.80
建物の改修・ 維持管理 (40点)	4	建物の価値を生かした適切な改修内容となっているか	20	13.80
	5	歴史的価値を有する建物に適した維持管理計画が提案されているか	20	14.20
地域貢献 (25点)	6	建物の持つ歴史的・文化的価値を生かす魅力的な事業内容が提案されているか	10	6.80
	7	地域の賑わいを共創し、魅力向上に資する事業となっているか	10	6.80
	8	周辺地域の景観や環境との調和に配慮した事業となっているか	5	3.60
合 計			100	74.00

3 最適提案者の選定理由

このたび選定された最適提案者の企画提案については、安定的な事業継続が期待できることや、建物の保全ならびに利用者の安全に配慮した耐震補強を行い、建物の一部を通年で市民や観光客に公開する予定であること、そして、何より、建物の歴史的価値を生かした活用に主眼を置いており、歴史的・文化的価値を有すると考えられるものが発見された場合、建物改修において柔軟に対応する姿勢があることを高く評価したものであり、旧ロシア領事館の歴史的価値を継承するとともに、施設を概ね有効に保存活用していく内容であることが認められた。

なお、旧ロシア領事館は歴史的・文化的価値が高いと考えられることに加えて、文化財としての価値の保全を求める市民等の声があることなども踏まえ、本館の改修にあたっては、本提案を基本としながら、最適提案者には、函館市と十分に協議のうえ、改めて、可能な限り次のことに努めていただくようお願いする。

- 1 歴史的・文化的価値を有する可能性が高い箇所について、活用しないものは保存すること。
- 2 歴史的・文化的価値を有する可能性が高い箇所が新たに発見された場合は、これを保存すること。

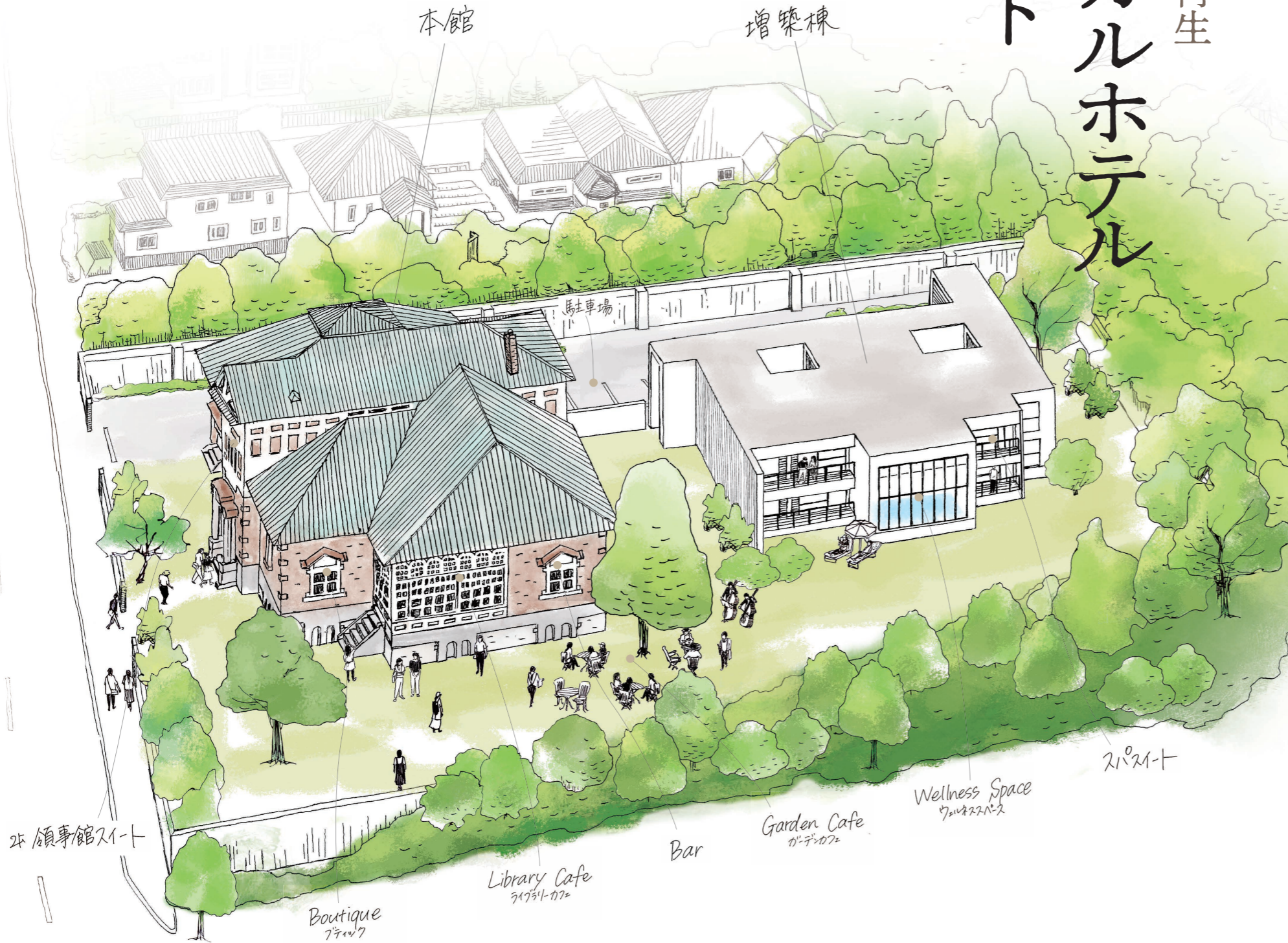
また、旧ロシア領事館の保存活用にあたっては、地域住民等との共創についても、今後さらに検討いただきたい。



函館旧ロシア領事館再生 ヒストリカルホテル プロジェクト

本館

増築棟



施設全体の構成

本館2階に2室、増築棟に4室の計6室を有するヒストリカルホテルとする。本館1階までは、一般客に公開する。レストランは道南の食材を中心としたロシアン・クイジーヌ(ロシア料理のエッセンスを含むフレンチ)をメインとする。

ライブラリーカフェではロシア軽食ランチを営業時間を決めて提供する。この場で日ロ交流の歴史資料や写真を常設展示し、温暖な時期には庭園への広がりをもたせ屋外テーブルも設ける。個室においては小規模なパーティーまたは会食が可能である。

レストランとライブラリーカフェは別のスペースとする。

本館	1F	ライブラリーカフェ ブティック レストラン Bar ホテルフロント
	2F	宿泊ルーム2室(各94㎡以上) 事務所
庭園		ガーデンパーティー ガーデンカフェ
増築棟	2階建て	宿泊ルーム4室(各88㎡以上) ウェルネススペース

建物の持つ歴史的・文化的価値の保存活用

用いられる資源を出来るだけ使い、元の建物の資材より学びを得て、函館が再建した奉行所などを参考に、再建の経緯は映像や写真、また文章で記録していきたいと考える。また、現代の耐震補強技術を導入し、歴史的建造物の保存に努めたい。特に本館1階の歴史的・文化的価値を有する既存物に関しては可能な限り有効活用していく。

建物の持つ歴史的・文化的価値を生かす事業内容

開港以来、函館の街が果たしたロシアとの外交の歴史を色濃く伝える、旧ロシア領事館の建物の扉を開くのを一番の目的とする。

痛みの激しい建物を修復し、再び市民の方々と歴史を共有し、国内外からの観光客を受け入れるための観光資源としての活用を目指す。

在札幌ロシア連邦総領事館函館事務所との共同イベントなどを開催し、日ロ交流が開かれた場所への求心力を蘇らせる。また、例を挙げるならPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌)に参加のロシアからの若い演奏家たちとの夏毎の共同音楽イベントなども企画していきたい。

また、宿泊者へ夜毎のロシア映画等をBarプレイスで上映し、ロシア文化に親しむ機会を広げる。「霧の中のハリネズミ」、「ノスタルジア」、「黒い瞳」など。



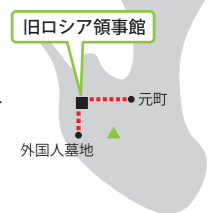
「霧の中のハリネズミ」
ユーリ・ノルシュテイン作品集

地域の賑わいの創出

現在も少なからずの観光客が門の外より佇まいを眺める場所になっている。元町から外国人墓地まで歩く中継点という位置を考える。この場所に風を通し、灯を灯し、昼に夜に港を見渡す函館らしい景色と、街にたゆたう時間の流れを提供する。

函館西部地区バル街への参加を目指す。

業務には多くの人材を必要とし、函館市に所縁のある方々の雇用を必須とする。歴史ある港町に暮らす市民の方々の気質とともに、函館の魅力を伝えていくことを目標とする。



周辺地域の景観や環境との調和

庭園の樹木はなるべく残し、駐車場を増築棟の裏側(敷地の南西側)に確保することで、景観との調和を維持することに努める。

増築棟の意匠は本館との調和を考えた外観とする。